

# 熊本県地域福祉支援計画の変遷（第1期～第4期）

## 第1期計画（H16～H22）

### ■わがまち自慢の福祉でまちづくり

- 1 地域の“縁がわ”づくり～地域の拠点～
- 2 地域の“結い”づくり～地域の支え合い～
- 3 地域の“ちから”おこし～地域のパワーアップ～

### ■安心の礎

- 1 地域を支える担い手の育成
- 2 利用者の視点に立った仕組みづくり

### ■地域福祉のビジョンづくり

- 1 住民参画型の地域福祉計画の策定支援
- 2 市町村合併後の地域福祉の展開

## 第2期計画（H23～H27）

### ■わがまち自慢の福祉でまちづくり

- 1 地域の“縁がわ”づくり～地域の拠点～
- 2 地域の“結い”づくり～地域の支え合い～
- 3 地域の“支事”おこし～福祉で起業化～

### ■安心の礎

- 1 総合的地域ケアの推進
- 2 地域福祉を支える担い手の育成
- 3 住民の視点に立った仕組みづくり

### ■地域福祉のビジョンづくり

## 第3期計画（H28～R2）

### ■くまもと型 福祉によるまちづくりの展開

- 1 地域の縁がわづくり
- 2 地域の結いづくり
- 3 地域のしごとおこし

### ■安心の礎

- 4 地域福祉を支える担い手の育成
- 5 住民の視点に立った仕組みづくり
- 6 地域における総合支援の推進
- 7 地域福祉のビジョンづくり

## 第4期計画（R4～R8）

### ■福祉による地域づくり

- 1 地域の縁がわづくり
- 2 地域の結いづくり
- 3 地域の人づくり

### ■災害にも強い地域福祉の推進

- 4 大規模災害からの復興に向けた地域福祉の推進
- 5 多様な災害に強い新たな地域福祉の推進

### ■地域づくりを支える基盤整備

- 6 福祉サービスを適切に利用できる基盤づくり
- 7 包括的な支援体制づくり

### 《今後取り組むべき課題》

#### ●地域における 支え合い機能の強化



- ・ 地域における居場所・活躍の場づくり、支え合い機能の充実が必要
- ・ 地域福祉の担い手の育成が必要

#### ●災害(感染症含む) への対応



- ・ 被災者の生活再建支援、被災地でのコミュニティ形成支援が必要
- ・ 多様な災害に強い新たな地域福祉の推進（ICTの活用推進等）が必要

#### ●複雑化・複合化した 課題等への対応



- ・ 虐待防止の強化、成年後見制度の利用促進、生活困窮者支援の推進等、福祉制度・サービスを適切に利用できる基盤整備が必要
- ・ 市町村における包括的な支援体制の整備（多機関協働の推進等）が必要

# 第5期熊本県地域福祉支援計画の骨子（案）

「第5章 施策の展開」の項目に係る見直し方針

- 「福祉による地域づくり」の3本柱を含む各項目の名称変更
- 災害についての柱を一本化

（参考）スローガン（案）

共に創り、共に支え合い、笑顔あふれる地域共生社会の実現  
～県民みんなが進める、誰もが輝けるくまもとづくり～

## <案>

### I 福祉による地域づくり

- 1 “みんなで創る” 身近な居場所づくり
- 2 “互いに気づかう” 心地よい関わりづくり
- 3 “キラキラと輝く” 未来を担う人づくり

### II 復興を進め、災害に備える地域福祉の推進

（中項目は設けない）

### III 地域づくりを支える基盤整備

- 1 “安心を届ける” 多様な福祉サービスの提供
- 2 “分野を超えて” つながる支援体制づくり

## <参考：現行の骨子>

### I 福祉による地域づくり

- 1 地域の縁がわづくり
- 2 地域の結いづくり
- 3 地域の人づくり

### II 災害にも強い地域福祉の推進

- 4 大規模災害からの復興に向けた地域福祉の推進
- 5 多様な災害に強い新たな地域福祉の推進

### III 地域づくりを支える基盤整備

- 6 福祉サービスを適切に利用できる基盤づくり
- 7 包括的な支援体制づくり